

長編ドキュメンタリー映画 (カラー 180分)

陸軍登戸研究所

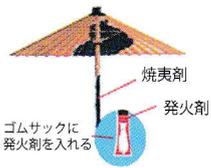
「キネマ旬報」3位 (文化部門)、2012年)

2012年作品、監督・編集 楠山忠之 製作 アジアディスパッチ

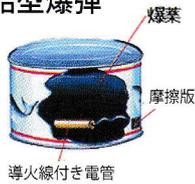
話題のドキュメンタリー映画。いよいよ練馬で公開!

「練馬・文化の会」が映像協力 同映画では練馬・文化の会と武蔵大学の共同制作により、文化の会会員の小岩昌子さんを描いた「テレビみつがしわ第3作 私は風船爆弾をつくっていた」(30分、地方の時代映像祭奨励賞受賞)の映像が使用されており、同映画の内容充実に貢献しています。

放火謀略兵器



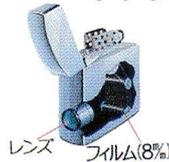
缶詰型爆弾



カバン型カメラ



ライター型カメラ

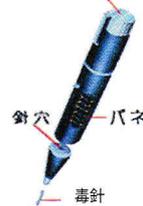


火炎瓶



万年筆型破傷機

内部は毒物容器



風船爆弾



主催 練馬・文化の会

協賛 ねりま九条の会・東京都教職員組合練馬支部
練馬区職員労働組合・東京土建一般労働組合練馬支部
連絡先 轡田 (携帯 090-9809-8591・TEL3948-5129)

2014年8月2日 (土)

第1回上映 午後1時~4時

楠山監督トーク 午後4時~4時半

第2回上映 午後5時~8時

練馬区役所地下多目的ホール

会費 前売り 1000円
(当日 1200円)

殺人光線、生物兵器、毒ガス、生体実験、風船爆弾、二七札・・・
おぞましき謀略戦の実態が貴重な映像や証言によって、今、明かされる!



長編ドキュメンタリー映画「陸軍登戸研究所」を巡って

話題 その①

「陸軍登戸研究所」中国での生体実験の元凶(きょう)

1919年、第1次大戦直後、日本軍は毒ガス兵器の研究を開始。最初は新宿戸山が原に研究所が置かれていましたが、1937年から神奈川県登戸に移転。ここでさまざまな謀略兵器が発案、開発され、中国に出張して生体実験をおこなったが、実態は秘密のベールに隠されていました。

話題 その②

楠山忠之監督が『陸軍登戸研究所を撮る』を出版

映画の制作・編集・監督を担当した楠山忠之氏が、映画の制作プロセスを綴った本を出版しました。題して『陸軍登戸研究所を撮る』(風塵社発行、1800円+税)。非常に興味深い内容で、映画制作の苦労や謀略戦の内情が貴重な証言などによって活写され、改めて登戸研究所が侵略戦争遂行のための重要な施設であったことが思い知らされます。

とくに、細菌戦を担当し、中国大陸で人体実験に関わっていた伴繁雄氏に関係した箇所からは謀略戦の怖ろしさがまざまざと浮かび上がってきます。

また、二セ札を扱った部分もインパクトに満ちています。所員の久木田氏はスパイ養成機関：中野学校のOBだが、研究所で印刷した二セ札を上海に運び、日本兵の給料にしていたという。更に、日本軍が香港を占領した際、蒋介石軍の造幣局から印刷機や原版を盗み出し、登戸研究所へ運んで二セ札を作ったという。「だから登戸でつくった二セ札は本物です」と平然と証言する元所員。

二セ札は中国だけをターゲットにただけではなく、インド、マレー、インドネシア向けにも作られ、現地の経済をかく乱させたのだという。風船爆弾のくだりでは小岩昌子さんも証言者の一人として登場します。本書にはこうした貴重な証言や体験談がぎっしり詰まっています。映画の背景を更に突っ込んで知ることができます。

(加藤久晴記)

話題 その③

練馬・文化の会と大学の共同制作による

「テレビみつがしわ」戦争4部作上映会

7月10日(木)午後7時～

石神井庁舎5階会議室 参加費500円

解説・トーク 加藤久晴(番組プロデューサー)

小岩昌子(番組出演者)

練馬・文化の会は地域の教育機関・大学と協力して番組「テレビみつがしわ」を制作し、J:COMで放送してきました。これまで15分～30分の10作品を制作・放送してきましたが、このうち戦争と平和に関わるテーマで制作された「風船爆弾…」など次の4作品の上映会を上記日時・場所で行います。

①『マンモス団地は陸軍飛行場だった』(08年、19分)

：光が丘団地は成増飛行場の跡地に作られていた。貴重な映像と証言によって戦争の傷跡を振り返る。

②『私は風船爆弾を作っていた』(09年、30分、2010

年度「地方の時代映像祭奨励賞受賞」)：小岩昌子さんは女学生時代、風船爆弾を作らされた。

③『武蔵野にも戦争があった』(10年、20分)：東京

大空襲の直前に武蔵野には長崎型原爆の模擬弾が落とされていた！

④『練馬駐屯地で見たものは?』(12年、20分、2012

年度「地方の時代映像祭奨励賞受賞」)：自衛隊は果たしてフレンドリーなのか？学生たちの率直な感想。



文化の会ではこの4作品を1枚のDVDに収録し、有料(上映代込み)で頒布しています。

お問い合わせは森田(3951-4276)まで。